



にゅーすれたーふじやま・長泉 新元号「令和」に決まる。



2019. 4

パナソニックエイジフリーショッブ

4月1日待ちに待った新元号が「令和」に決まり、号外が出るなど、日本中がこの話題で持ちきりになりました。政府が1日「平成」に代わる新元号を「令和」と決定し、今の天皇陛下が改元政令に署名され、同日中に公布。4月30日の天皇陛下退位に伴い、皇太子さまが新天皇に即位される5月1日午前0時に施行される。皇位継承前の新元号公表は憲政史上初めてのことです。西暦を使うことが増えたとは言え、1300年以上の歴史を経て、日本独自文化として定着している元号。世界で唯一、元号制度が残る国として、誇っても良いと私は思っています。本家の中国は1911年、清朝の「宣統(ラストエンペラーで有名な溥儀の時代)」を最後に元号を廃止しています。そこで西暦と元号どちらを使いたいかを聞いたところ、両方を使いたい39.8%西暦34.6%元号24.3%で以前のような元号への批判的な意見は高まっていないようです。私個人としては安心しました。大化から平成まで元号は247あります。その中で最も長く続いたのは62年と13日の昭和です。次は43年9か月と7日の明治です。これは明治以降、天皇一代に一つの元号とする「一世一元」が制度化されたことが要因です。248番目の「令和」の由来として、菅官房長官は、万葉集の三十二首「梅花の歌」にある「初春の令月にして、気淑く、風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」から引用したと表明しています



そのうえで、安倍首相は前段の万葉集の“梅の花”について触れ「平成の時代のヒット曲に『世界に一つだけの花』という歌がありましたが」とSMAPの楽曲名を持ち出しました。そして「次の時代を担う若者たちが、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そのような若者たちにとって希望に満ち溢れた日本を、国民の皆様とともに作り上げていきたいと思っています」と願望を語りました。

「世界に一つだけの花」は、シンガーソングライターの槇原敬之が作詞作曲し、SMAP 楽曲としてリリースされたものです。2016年にSMAP解散騒動が巻き起こった際、ツイッターなどのSNSを通じ、「花摘み」と呼ばれる購買運動が巻き起こったことで知られます。今年のセンバツ高校野球の入場行進曲にも採用されています。この安倍首相の発言はネット上で大きな反響を呼び、「令和」などのワードともに『世界に一つだけの花』がトレンド入りを果たしました。ツイッター上には「平成にSMAPがいて、新元号へもSMAPの世界に一つだけの花が受け継がれるってね」「平成を代表する曲 次代に継ぐ曲 解散しても尚日本を代表するグループ SMAP…」 「新元号にかけた願いになるとは、夢にも思わなかった。やっぱりSMAPは日本に必要不可欠なんだよ…」 「ファン鼻負抜きにしてSMAPってやっぱり凄いな」などと、感激するコメントが大量に投稿されています。さらに、「各SNSの名前や、SMAPの世界に一つだけの花を引用するとか、新しい時代にしようって言う感じが物凄く伝わる」「我々がSMAPの想いを伝え続けたことを誇りに思おう。その想いが、日本のトップを動かしたのだから」との声も挙がり、話題を大きく広げています。安倍首相の言葉で印象に残ったのは“万葉集は国書であり、日本国民の文化の象徴である。「令和」は文化を発展させる時代にしたい”と語っていたことです。この先、私自身何年生きられるかわかりませんが、日本人として昭和・平成・令和の3世代に命をつなぐものとして、誇りとプライドをもって「令和」を生きて行こうと強く思いました。

渡邊啓視